

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1493100588
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア
事業所名	ライブラリ横浜日野
訪問調査日	令和6年3月8日
評価確定日	令和6年5月14日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和5年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100588	事業の開始年月日	令和2年10月1日	
		指定年月日	令和2年10月1日	
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア			
事業所名	ライブラリ横浜日野			
所在地	(〒234-0051) 横浜市港南区日野6-6-5			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	27名	
		ユニット数	3ユニット	
自己評価作成日	令和6年2月27日	評価結果 市町村受理日	令和6年5月16日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者の方が安心・安全・安楽をモットーに、日々の生活を楽しんでいただきたいと思います。また、ご家族様との連絡も密に行い良い関係の構築に努めております。ご入居者の方の笑顔は、働いている職員の笑顔と繋がって参りますので職員の働きやすい環境や、風通しの良い施設運営に努めて参ります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和6年3月8日	評価機関 評価決定日	令和6年5月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は株式会社リビングプラットフォームケアの経営です。同社は、介護事業・障がい者事業・保育事業を中核として、多岐に亘る事業を北海道や関東地区を中心に沖縄までの幅広いエリアで展開しています。介護事業は、介護付有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、グループホームなどを展開しており、利用者のニーズに応じた介護サービスを提供しています。グループホームは神奈川県内(相模原・横浜・川崎市の政令指定都市)で、10ヶ所の事業所を運営しています。ここ「ライブラリ横浜日野」は横浜市営地下鉄の「上永谷駅」から「洋光台前駅ゆき」バスに乗り「公務員住宅前」下車して徒歩5分程の坂の中腹にあり、事業所の前には果樹林、竹林等が植えられている生産緑地のある環境下に位置しています。

●事業所では、法人のコーポレートミッション「安心を育て、挑戦を創る」に基づき、利用者が「安心・安全・安楽」に生活を送っていただくことを信念としています。管理者は、利用者に「安心・安全・安楽」していただけるサービスを提供するうえで、職員が働きやすい職場環境の整備が必要不可欠と考え、朝・夕の申し送り時、各ユニット会議・ワーカー会議等で積極的に職員の声を聴きながら、風通しの良い施設運営を心がけています。また、法人のコーポレートミッションと行動指針「①まず自分が楽しもう②誠実さで判断しよう③家族と思って接しよう④仲間と進もう⑤疑問を持つ⑥明日に向かって挑戦しよう」を常に意識できるよう、事務所内に掲示している他、名刺サイズのカードを名札と共に常に携帯して業務にあたっています。

●地域との交流については、コロナウィルスが5類の移行とともに、地域の行事等も徐々に再開され、昨年8月には町内会の盆踊りに利用者をお連れして、抽選会等の催しを楽しんでいただいています。また、事業所のクリスマス会には合奏・合唱ボランティアの方の来訪もあり、今後も徐々に受け入れを再開する方針としています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ライブラリ横浜日野
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。	法人のコーポレートミッション「安心を育て、挑戦を創る」、行動指針「①まず自分が楽しもう②誠実さで判断しよう③家族と思って接しよう④仲間と進もう⑤疑問を持とう⑥明日に向かって挑戦しよう」は事務所に掲示しています。法人のコーポレートミッションと行動指針が明記された名刺サイズのカードを名札と共に常に携行して業務にあたっています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2023年度は2022年3月から4月にかけてに、当該施設にて新型コロナのクラスターが発生（入居者8名・職員2名罹患）して、なかなか外部との地域交流は出来ておりません。2023年8月に町内会の盆踊りにご入居者の方と一緒に参加をし、抽選会等をしております。	開設当初から地域の町内会に加入しており、定期的に配架される「町内会報」にて地域の情報を入手しています。コロナウィルスが5類に移行とともに、地域の行事等も徐々に再開され、昨年8月には町内会の盆踊りに利用者をお連れして、抽選会等の催しを楽しんでいただいています。また、事業所のクリスマス会には合奏・合唱ボランティアの方の来訪もあり、今後も徐々に受け入れを再開する方針としています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2023年度は新型コロナの感染状況の影響で具体的な行動はほとんど出来ておりません。第5類に移行しましたので今後は積極的に行動を行いたいと考えます。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度とは違く新型コロナが第5類になったことから、面会は面談室を利用し再開しております。運営推進会議も5月は町内会の会計部長の荒井様、7月は家族会を代表して早川様に参加して頂いております。会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。	コロナウィルスが5類に移行したことに伴い、対面形式に戻して、地域包括支援センター職員・町内会役員・家族代表の方に参加いただき、事業所の面談室で開催しています。事業所の現状・活動状況・事故・ヒヤリハットについて報告を行い、意見・提案を求めています。また、その際に地域の行事等に関する情報もいただき、運営や外出支援に反映させています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。	横浜市や港南区の担当者とは、必要に応じて電話やメールで連絡を取り、相談や助言を求める等として、協力関係の構築に努めています。研修や講習会の案内等は、メール連絡が主で、内容を確認したうえで職員に周知しています。また、生活保護受給者の受け入れを行っている関係で、港南区の担当者とは、情報を共有しながら対応しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。	管理者・リーダー・ケアマネージャー・看護師等が参加するワーカー会議で、身体拘束適正化委員会を開催し、身体拘束に当たる行為や、声掛けが無いのか検討しています。委員会で話し合った内容は議事録に纏め、職員に周知しています。身体拘束を行わない為の指針や、マニュアルも整備され、職員研修も年2回実施しています。その際に、コンプライアンスの重要性の理解を深める様に説明も行っています。	今後の継続	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話をしております。	虐待の防止についても、身体拘束と同様に管理者・リーダー・ケアマネージャー・看護師等が参加するワーカー会議の中で、虐待に当たる言動や、対応がないかを検討しています。虐待の防止についての指針や、マニュアルも整備し、職員研修も年2回実施しています。身体拘束や虐待の防止を含めて、自己点検シートに基づく、年1～2回の点検を実施し、日々のケアの振り返りにつなげています。	今後の継続	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っています。ご不明な点等はご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。			
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。	入居時に、重要事項説明書に記載されている苦情相談窓口について家族へ説明しています。家族からの意見・要望は、面会時・電話・メール等で近況報告と併せて何うようにしています。家族への連絡窓口は、管理者もしくはケアマネージャに限定し、家族が混乱しないように工夫しています。家族からの意見・要望が聴かれた際には、申し送りや、業務日誌で共有し、迅速に対処するよう心がけています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。	朝・夕の申し送りに参加して職員の意見・提案を聴いています。日常的に職員から聴かれた意見・提案については、毎月の各ユニット会議やワーカー会議の議題にあげ、他の職員の意見を踏まえたうえで、業務や、ケアに反映させています。エリア会議には、エリア長、各施設長と本部担当部長も参加して、課題等の早期解決に取り組んでいます。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理表や諸所の報告書、また、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。 また、直上のエリア長と密に連絡を取っております。	法人では、資格取得支援制度・処遇改善手当・資格手当の他、昇給機会も年4回(3・6・9・12月)あり、職員が向上心をもって働ける環境が整備されています。管理者は日々の業務・面談などから職員個々の仕事に対する姿勢や目標を把握し、相談や助言を行いながら、目標を達成できるようサポートしています。シフト作成においては、勤務日数・休暇取得状況を確認しながら、有給休暇の取得を促すなど、ライフワークバランスに配慮しています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。 社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。	法人では研修制度も充実しており、初任者研修・実務者研修・認知症実践者研修・認知症管理者研修など、職員の経験年数や実績に応じた研修が確立している他、研修補助や資格取得支援制度を活用し、外部研修の受講を促しながら、資質向上に努めています。事業所内研修は、会社の研修部による資料を基に、毎月テーマ別研修等を行っています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取組みを行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居に当たり、必ず面談を行っており(ケアマネジャーか看護師同行)しっかりと話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お出来る事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等と一緒にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との良い関係性の維持に努め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	2023年度は新型コロナが第5類になったことから、ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。面会実施時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様からのお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。	利用者にとって一番の馴染みは、家族や親類であることから、入居後も気兼ねなく面会に来てくださいと伝え、家族との関わりが疎遠にならないよう支援しています。現在は、面会や外出制限を緩和し、相談室での面会や、家族との外出も可能にしています。利用者によっては、継続して行きつけの理美容に行かれています方もいます。また、手紙の遣り取り、電話を希望される方には対応するようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。	入居前面談で、本人・家族・介護支援専門員から生活歴・既往歴・趣味嗜好品・暮らし方の希望などについて情報を聴き取りながら、アセスメントシートを作成しています。入居後は、本人が発した言葉・表情などの情報を記録に残し、ワーカー会議・ユニット会議・申し送りで情報を共有しています。内容によっては、家族へ報告し、家族の協力も得ながら、思いや意向に沿った支援を提供できるよう努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のご生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成しています。3ヶ月間様子を見ながら、ADL・IADLの状態を含めた細かな情報把握に努め、ケアマネージャが主となり、記録や職員からの聴き取りを踏まえて、サービス内容のモニタリングを実施しています。短期は6ヶ月、長期は1年での介護計画を更新していますが、変化があった際には、随時見直しを行っています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。	入居時に協力医療機関の説明をして、協力医療機関に切り替えのメリット等も伝え、納得して頂き切替えています。内科以外の他科への受診が必要な場合は、協力医療機関の紹介状にて受診しています。内科の訪問診療は月2回、歯科は週1回あります。職員の看護師は、週2回来て健康管理や薬の確認、爪切り等を行っています。24時間のオンコール窓口は、協力医療機関の看護師が対応しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応をしており、訪問診療の看護師の方ともオンコールで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。	契約時に「重度化した場合の対応に関わる指針」について説明し、同意書を取り交わしています。事業所では終末期・看取りケアまで行う方針としており、家族が事業所での看取りを希望される場合には、家族・医療機関とも連携を取りながら、本人にとって穏やかな最期が迎えられるよう、チームとして支援に取り組むとしています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。	年2回防災訓練を実施しています。うち1回は、防災設備業者の立ち合いの下に、火災想定での消火訓練と避難誘導訓練を実施しています。その際、防災機器や設備の操作方法についても確認を行っています。備蓄品としては、水・食糧・ヘルメット・発電機・懐中電灯・衛生用品等を準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。	入職時には、認知症ケア・接遇・法令順守に関する研修を行うと共に、入職後も継続して年間研修において、接遇・個人情報・守秘義務・法令順守について研修を行っています。また、入職時には、個人情報の誓約書についても取り交わしています。個人情報に関する書類は鍵の掛かる書庫で保管・管理しています。排泄や入浴支援を行う際にも、羞恥心や自尊心を損なうことのないよう、留意して対応をしています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせたお好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒にさせて頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。	食材はレシピ付きで業者から発注した物を職員が調理しています。盛り付け、彩りを工夫し、1人1人の嚥下能力に合わせた食事形態で提供することで、完食できるように支援しています。出来る方には下膳・テーブル拭き・お盆拭きを手伝っていただき、残存能力の維持につなげています。行事や誕生日には利用者の希望でお寿司などをテイクアウトしたり、ケーキを用意して皆でお祝いしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらパットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。	排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、各々のタイミングや時間を見計らって声かけし、トイレに誘導しています。失敗を減らすために、申し送り等で細かく情報を共有し、トイレ誘導間隔を短くする等の工夫をしながら、自立に向けた支援を行っています。夜間にオムツを使用する方でも、立位保持が可能であれば、日中はトイレに座っていただき、座位をとってもらおうようにしています。夜間は、ポータブルトイレを使用する方、睡眠を優先する方、個々に応じて対応しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりとした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。	週2回の入浴を目安とし、入浴日や時間も決めていますが、職員本位の入浴とならないよう、バイタルと希望を確認しながら、本人本位の入浴につなげるよう支援しています。時には、入浴剤を使用して、変化をつける等の工夫も行っています。また、入浴後には保湿クリームを塗布して乾燥対策を行うと共に、脱水症状にならないよう水分を摂取してもらうようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご本人様の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場で家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。	事業所は坂の中腹にあり、立地上散歩にお連れすることが難しい為、ベランダでの日光浴や、広い駐車場を活用して散歩する等して、外気に触れ、肌で四季を感じていただけるよう支援しています。コロナウィルスが5類の移行とともに、地域の行事等も徐々に再開され、昨年8月には町内会の盆踊りに利用者をお連れして、抽選会等の催しを楽しんでいただいています。また、家族対応で行きつけの美容院や、買い物に行かれています方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしゃいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。	リビングや廊下など全体が、和風モダン調の内装で統一され、壁紙や照明も落ち着いた色合いの物を使用しています。壁面には季節や行事に合わせた折紙や、貼り絵などの作品を飾っています。また、整理整頓を心がけ、室温・湿度・陽光は職員によって管理され、快適に過ごせる共用空間づくりに努めています。リビングのテレビで、YouTubeを活用して、体操レク、昔の番組を流す等して回想法につなげる取組みも行っています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様がご本人様と相談され、配置を決めております。	居室にはエアコン、ベッド、クローゼット、照明等が完備されています。防災カーテンは利用者の好みの色や柄の物を、持ち込みで付けています。使い慣れた整理ダンス、テレビ、仏壇、写真など持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせる様な位置に置かれています。衣替え等は、家族の協力で行っています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内での生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

目 標 達 成 計 画

事業所 ライブラリ横浜日野

作成日 令和6年3月8日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	別のグループホーム新設に伴い、当施設から数名行かれる。そのため新規職員の補充。	基準の常勤換算人数になるべく職員の補充を行う	採用サイト、ハローワーク、WEBなどからの職員の募集	4月末まで
2	13	職員に対する教育、及び職員の認知症実践者研修や介護福祉士の取得	常勤職員の認知症実践者研修や介護福祉士の職員数を増やす	4月以降開催の認知症実践者講習や実務者研修への参加の呼びかけ	4月～
3	4	近隣地域との交流や運営推進会議への外部の方の積極的な参加	新型コロナの影響で滞っていた外部との交流を今後は積極的に行っていく。運営推進会議へ外部の方に積極的に参加の声掛け。	自治会の会合に積極的に参加し、地域行事での交流機会を設けるように努める	4月～

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	ライブラリ横浜日野
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2023年度は2022年3月から4月にかけてに、当該施設にて新型コロナのクラスターが発生（入居者8名・職員2名罹患）して、なかなか外部との地域交流は出来ておりません。2023年8月に町内会の盆踊りにご入居者の方とご一緒に参加をし、抽選会等をしております。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2023年度は新型コロナの感染状況の影響で具体的な行動はほとんど出来ておりません。第5類に移行しましたので今後は積極的に行動を行いたいと考えます。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度とは違う新型コロナが第5類になったことから、面会は面談室を利用し再開しております。運営推進会議も5月は町内会の会計部長の荒井様、7月は家族会を代表して早川様に参加して頂いております。会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理表や諸所の報告書、また、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。 また、直上のエリア長と密に連絡を取っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。 社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取り組みを行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居に当たり、必ず面談を行っており（ケアマネジャーか看護師同行）しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お出来になる事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等を一緒に行っております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との良い関係性の維持に努め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	2023年度は新型コロナが第5類になったことから、ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。面会実施時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様からのお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のご生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応をしており、訪問診療の看護師の方ともオンコールで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせたお好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒に行って頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご本人様の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場での家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしゃいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様をご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

目 標 達 成 計 画

事業所 ライブラリ横浜日野

作成日 令和6年3月8日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	別のグループホーム新設に伴い、当施設から数名行かれる。そのため新規職員の補充。	基準の常勤換算人数になるべく職員の補充を行う	採用サイト、ハローワーク、WEBなどからの職員の募集	4月末まで
2	13	職員に対する教育、及び職員の認知症実践者研修や介護福祉士の取得	常勤職員の認知症実践者研修や介護福祉士の職員数を増やす	4月以降開催の認知症実践者講習や実務者研修への参加の呼びかけ	4月～
3	4	近隣地域との交流や運営推進会議への外部の方の積極的な参加	新型コロナの影響で滞っていた外部との交流を今後は積極的に行っていく。運営推進会議へ外部の方に積極的に参加の声掛け。	自治会の会合に積極的に参加し、地域行事での交流機会を設けるように努める	4月～

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	ライブラリ横浜日野
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2023年度は2022年3月から4月にかけてに、当該施設にて新型コロナのクラスターが発生（入居者8名・職員2名罹患）して、なかなか外部との地域交流は出来ておりません。2023年8月に町内会の盆踊りにご入居者の方とご一緒に参加をし、抽選会等をしております。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2023年度は新型コロナの感染状況の影響で具体的な行動はほとんど出来ておりません。第5類に移行しましたので今後は積極的に行動を行いたいと考えます。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度とは違う新型コロナが第5類になったことから、面会は面談室を利用し再開しております。運営推進会議も5月は町内会の会計部長の荒井様、7月は家族会を代表して早川様に参加して頂いております。会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理表や諸所の報告書、また、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。 また、直上のエリア長と密に連絡を取っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。 社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取り組みを行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居に当たり、必ず面談を行っており（ケアマネジャーか看護師同行）しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お出来になる事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等を一緒に行っております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との良い関係性の維持に努め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	2023年度は新型コロナが第5類になったことから、ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。面会実施時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様からのお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のご生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応をしており、訪問診療の看護師の方ともオンコールで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせたお好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒に行って頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご本人様の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場での家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしゃいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様がご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		